

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 小樽四ノ葉学園

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

法 人 本 部 事 業	
基 本 方 針	1. 施設利用者及び職員等の安全・衛生管理（新型コロナ対策）に対する日々高い意識をもって対応し安心できる生活環境・利用環境の向上を図った。 2. 無駄なく工夫改善を図り経費節約に努め、効率良い利用者支援の実現を図った。 3. 施設利用者の苦情解決及び人権を尊重し擁護の徹底を図った。 4. 理事会を年6回以上開催する。 コロナ感染により4回の実施 5. 地域との関係を円滑に図る。 コロナ感染状況により中断
実 施 事 業	1. 小樽四ツ葉学園建設整備実施日程計画を作成する。 第1回目資料提示 2. 中央保育所の第三者評価機関の受審を実施継続する。 コロナ感染により中断 3. 余市豊浜学園放射線防護対策維持経費を申請した。 3,573,694 円 完了
地 域 に お け る 公 益 的 な 取 組	1. 施設退所後の利用者に対し、預り金管理の継続を実施した。 2. 当施設利用中の生活困窮者に対し、冬期間の灯油等の援助を実施した。 3. 園芸市を開催し、地域住民の方々へ提供した。コロナ感染状況により 中止 4. 朝里地区と共同で、まちづくりの一環として花苗の提供及び苗植えを実施する。 5. 学園の各行事等に近隣住民の方々を招待し交流親睦を図る。 4. 5. コロナ感染状況により 中止 6. 小樽市内の社会福祉関係機関の一員として、生活困窮者へ援助対応した。 7. 冬期間の各施設の近隣住民の除雪協力を実施した。 8. 防災時、福祉避難所としての開放及び防災機器の整備推進を図った。

## 令和 4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	<b>障害者支援施設 小樽四ツ葉学園 定員 60名 現員 52名</b>
施設整備	1. カーテン更新（トイレ等共用部分） 230,000円（保護者会）
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図った。</li><li>利用者個々の健康面を重視し、軽い運動を取り入れると共に、医療機関と連携をし、健康の維持に努めた。</li><li>虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立に努めた。</li><li>防火対策及び災害対策の強化に努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li><li>利用者の安全を確保するため、ヒヤリハット報告を活用し、事故防止対策の徹底を図った。</li><li>個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。</li><li>利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。</li></ol>
地域との連携	新型コロナウイルス感染症のため、学園行事に参加して頂く等の積極的な交流は難しかったが、町内会への花苗の提供、また園芸作品（花苗、野菜苗）、手芸作品の販売を通じ、地域貢献することができた。

## 令和 4 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

生活介護事業所 よつばふれあい 定員 40名 現員 40名	
施設整備	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図った。</li><li>利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービスを提供するよう努めた。</li><li>虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者的人権の尊重及び権利擁護の確立に努めた。</li><li>防火対策及び災害対策の強化に努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li><li>個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。</li><li>利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。</li></ol>
地域との連携	新型コロナウイルス感染症のため、学園行事に参加して頂く等の積極的な交流は難しかったが、町内会への花苗の提供、また園芸作品（花苗、野菜苗）、手芸作品の販売を通じ、地域貢献することができた。

## 令和 4 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 よつばさくら 定員 40 名 現員 39 名
施設整備	1. 外活動用車両（中古） 2, 000, 000円 ※ 車両が見つからず、令和5年度事業計画に継続
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図った。 2. 利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービスを提供するよう努めた。 3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立に努めた。 4. 防火対策及び災害対策の強化に努めた。 (避難訓練実施年～2回実施) 5. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。
地域との連携	新型コロナウイルス感染症のため、学園行事に参加して頂く等の積極的な交流は難しかったが、町内会への花苗の提供、また園芸作品（花苗、野菜苗）、手芸作品の販売を通じ、地域貢献することができた。

## 令和 4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所よつばクローバー 定員 32名 現員 27名
施設整備	1. クローバー6 外壁塗装工事 1, 122, 000円 2. クローバー7 外壁塗装工事 1, 174, 800円 合 計 2, 296, 800円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、住居内の消毒等）を図った。 2. 地域での生活を継続していくために、夜間対応の充実を図り、より安心して安全に生活ができるように支援をした。 3. バックアップ職員と生活支援員及び世話人とのミーティングを定期的に実施し、生活の質の向上を図った。 4. 防火対策及び災害対策の強化に努めた。 (避難訓練実施年～2回実施) 5. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。
地域との連携	1. 町内会の行事等（清掃等）に参加をし、地域の中の一員として位置付けられるよう努めた。 2. 学園本体の行事等にも参加し、交流を深めた。

## 令和 4 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

相談支援事業所 四ツ葉	
整備事業	
相談支援事項	<ol style="list-style-type: none"><li>障がい者の福祉の向上並びに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるように情報提供を図り、必要な援助、相談支援を行った。</li><li>訪問相談・電話・ファクス等の方法で相談受付（月～金曜日まで 9 時から 17 時）（土曜日は 9 時から 12 時）を実施した。</li><li>障がい者相談支援事業の実施において、小樽市委託の基本相談並びに他市町村からの依頼によるサービス計画作成及びモニタリングの実施を円滑に行った。 (小樽市より委託料として、3,300,000 円) 計画実績数 127 件 モニタリング実績数 550 件</li><li>障害支援区分認定調査受託（小樽市及び他市町村） 認定調査実績数 54 件</li></ol>
地域との連携交流	<ol style="list-style-type: none"><li>障がい者の地域生活において、総合的な支援を実現するために小樽市障がい児・者支援協議会を活用し、地域での課題解決に向け、関係機関及び他の専門機関と連携調整等を図った。</li><li>後志管内及び他市町村の自立支援協議会加入事業所と積極的に交流をし、情報交換に努めた。</li><li>小樽市委託の基本相談を通して、市内在住の障がい者を対象とした生活全般の相談、福祉サービス利用に向けた調整等の相談業務を行った。</li></ol>

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

障害者支援施設 余市幸住学園 定員50名	
施設整備事業	1. 業務用洗濯機入替 2,640,000円 2. トイレ改修工事 1,049,400円 3. 居室バリアフリー工事（2部屋） 887,700円 合 計 4,577,100円
支援サービスの目標	1. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。 2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。 3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。 4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。 5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。 6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。 7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（月2回実施） 8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（年4回実施） ※新型コロナウイルス感染予防のため中止 9. 利用者集会等での要望や苦情等の速やかな解決に努めた。（年6回実施）
地域との連携	1. 行事等を通じて地域との交流を深め、相互理解と協力を得るよう努めた。 2. 地域の活動（清掃、草刈）へ積極的に参加し、連携を深めるよう努めた。 3. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 こうずみ とよおか 定員40名
施設整備事業	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li><li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。</li><li>3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。</li><li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li><li>5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。</li><li>6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。</li><li>7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(月2回実施)</li><li>8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(年4回実施) ※新型コロナウイルス感染予防のため中止</li><li>9. 利用者集会等での要望や苦情等の速やかな解決に努めた。(年6回実施)</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 行事等を通じて地域との交流を深め、学園及び地域との相互理解と協力を得られるよう努めた。</li><li>2. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。</li></ol>

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

就労継続支援B型事業所 こうづみ 定員20名	
施設整備事業	1. 幸の湯釜漏水修理 3,024,000円
支援サービスの目標	1. 生産・運営活動の機会を通じ、就労に関する社会的マナーや知識の習得及び能力の向上に努めた。 2. 公衆浴場の運営を通じて、地域交流がより一層深まるように支援を行った。 3. 事故防止に繋がるよう、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。 4. 感染症の予防対策と安全衛生管理の徹底に努めた。 5. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。
地域との連携	1. 公衆浴場の運営を通して地域との交流を深め、より障害者への理解を深めてもらうよう務めた。 2. 地域共生として公衆浴場の無料開放（敬老の日）等を実施した。 3. 行事や買い物等の余暇支援を通じて、地域交流の場を設けた。

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所 こうずみ メープル 定員36名
施設整備事業	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域で安心してゆとりある生活が出来るように、積極的な支援を行った。</li><li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した計画を実施し充実を図った。</li><li>3. 事故発生を予防する為、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。</li><li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li><li>5. 高齢化に伴う、体力・機能の低下を防ぐと共にADLの維持に努めた。</li><li>6. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 町内会行事に参加し交流を深め、地域の一員として暮らしていくように努めた。</li><li>2. 地域での日中活動を通じて、相互理解を深めた。</li></ol>

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	相談支援事業所 余市幸住学園
施設整備事業	
相談支援事業	<ol style="list-style-type: none"><li>障害者の福祉の向上ならびに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるよう情報提供をし、相談支援の実施を行った。</li><li>訪問相談・電話・FAX等の方法で相談受付（月から金曜日 9時から17時まで、土曜日は9時から正午まで）として実施した。</li><li>障害支援区分認定調査において、関係機関と調整し実施した。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>障害者の地域生活を支援するために、自立支援協議会等を活用し、課題解決に向け関係機関及び他の専門機関と連絡調整等を行った。</li><li>自立支援協議会等に積極的に参加し、他の福祉団体との情報交換及び交流を行った。</li></ol>

## 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

余市豊浜学園 定員30名	
施設整備事業	<p>1. 業務用洗濯機及び乾燥機入替工事 3,663,000円 2. 正面玄関・女性棟入り口止水板設置工事 1,167,210円 3. 食堂エアコン入替工事 995,500円</p> <p>合計 5,825,710円</p>
支援サービスの目標	<p>1. 利用者の高齢化等に合わせ、日中活動の内容編成を見直し、それぞれが充実した活動が出来るようにサービスを提供した。</p> <p>(1) 利用者各々の年齢や特性に合わせた活動支援・見守り体制の整備を図った。 (2) 利用者個々の計画相談に添うサービス計画を作成し、本人のニーズも取り入れ、活動の充実を図った。</p> <p>2. 感染症予防対策に係る隔離支援スペースや資機材の整備と衛生管理、リスクマネジメントにおけるリスク管理、防犯対策を実施した。</p> <p>3. 休日や余暇の支援として、コロナ禍の為に園内で実施できる活動を取り入れ、充実を図った。</p>
地域との連携	<p>1. 海浜清掃、墓地草取り、畑の耕耘、朝刊配達、老人世帯の除雪等の活動を通じて、より一層の理解が得られるよう公益的な事業を行い、地域との積極的な交流に努めた。</p> <p>2. 地震等、自然災害発生時における迅速で適切な避難が出来るように訓練を実施するとともに、放射線防護施設（フィルター棟）を活用し、停電時の充電スペースの設置や災害時の非常食や日用品の提供など、近隣住民の生活の確保を含めた拠点となるように、施設機能を充実させた。</p>

令和4年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

令和4年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園